



都議会議員選挙が終わって

選挙の結果は、都民ファースト 31 議席(+5)、自民 21(-9)、公明 19(-4)、立民 17(+5)、共産 14(-5)、国民 9(+9)、参政 3(+3)、ネット 1(±0)でした。世田谷では、自民・参政・立民・都ファ(2)・公明・共産・国民の結果でした。自民党が大きく票を減らしたのは、当然の結果(世田谷では、裏金に少しも反省してない候補が落選)だと思います。都ファは議席を増やしましたが、与党3党としては減らしています。

選挙結果で1番驚いたのは、参政党が3議席を得たことです。世田谷では4万票を超えて2位当選。支持率を伸ばしているのは知っていましたが、参院選でも大きく伸びることは、すごく怖いことです。

参政党のホームページで政策をみると、外国人の受け入れ数に制限をかける(市町村単位で日本国民の5%。受け入れ要件の高度化)、社会保障利用に制限、外国人の生活保護支給停止、その他にも選択制夫婦別姓制度を認めない、LGBT理解増進法と同性婚に反対、男系による皇位継承、神社の国有化などなど、憲法草案では第一章で日本は天皇のしらす君民一体の国家であるとし、第二章では国は主権を有しと、国民主権はありません。現憲法の九条はあとかたもなく、前文もまったく違う文です。参院選では、憲法を守る、九条を守り軍事ではなく外交で平和をめざす、核兵器廃絶にイニシアチブがとれる政党をのぼしたいと思います。もちろん、物価高騰対策や農業や医療、介護の問題でも安心して生活できる政策を選択することも大事です。

(代田4丁目・萱野 幸子)



なぜかカジノ、だからトランプ、そして参院選……

鶴保・参院予算委員長(自民)の暴言「運のいいことに能登で地震が……」は、被災地復興が1年半を経てなお、遅々として進んでおらず、その大きな要因が、カジノ誘致の地ならしとなる万博パビリオン建設の突貫工事を、復興作業に優先させたことだという、悲しい事実をも思い出させてくれました。

想えばそもそもカジノ誘致を可能にしたIRなんたら法は、西日本豪雨発災直後の国会で、カジノも災害対応も所管する石井国交相(当時、公明)を含む自公議員らが、同法審議を被災者・被災地対応に優先させて強行採決に持ち込んだものでした。

政治家たちが人命より尊重する(としか思えない)このカジノを、日本にねじ込んだトランプ米大統領が、今度は25%の関税を突き付けてきました。石破首相はこれに対し「なめられてたまるか」とまことに頼もしいお言葉。ただ、赤沢あれやこれや担当大臣というなめられキャラを交渉役に起用しておいて今さらである上に、発言場所が国会でもテレビ討論会でもなく船橋駅前ですから、関税を1%下げるより千葉での1議席をなんとかか……という志の低さが丸見えです。米国が日本に防衛費のGDP比3.5%への引き上げを求めたという英紙の報道は、林官房長官が否定はしたものの、NATOに5%を認めさせたトランプ政権が、忠実なる「同盟国」・日本を甘やかしてくれるわけがない。遅かれ早かれ飛んでくるその要求を、石破も進次郎もまさかの高市だとしても、尾を振って受け入れるでしょう一財源などクソくらえで。

「減税か給付か」と、メディアは参院選の争点を単純化しますが、優先すべきは被災者よりカジノなのか、日本人の生活より米企業の利益なのか、保険診療の充実より中古兵器の爆買いなのか、裏金は、企業献金は、選択的夫婦別姓は、マイナ保険証は、物価高は、〇〇円のカベは……?(前回の記述の繰り返し失礼!)と、投票にあたって考慮すべきポイントは山ほどあります。え、もう選挙は終わってますか?……それでも、選ばれた政権に対して、これらを常に厳しく確認していきたいですね

(梅丘1丁目・真藤 一彦)

「大東亜戦争」下の文学者たち・・・「日本文学報国会」

自分の住んでいる町・梅ヶ丘から本屋が無くなって久しい。休日には神保町へ行ってみるのが多くなった。新本・古本ともに手にすることができるのがうれしい。

「日本文学報国会」450ページほどある。この本の存在は知らなかった。日本文学全集などに入っている作家が多数含まれている。自分が今までに気に留めた、石川 達三、高見 順、林 芙美子、壺井 栄たちが時の政府権力に流されてしまって…。戦後は民主的な作品を多く書いている。

なぜ「一報国会」に。恐らく権力に逆行することが恐怖に感じることがあったのだと思う。でも、もし多分「仰げば尊し」という歌が少しは影響したのではと。「身を立て、名を挙げ、やよ励めよ」。最近そんな風に思えてならない。

ちなみに、「仰げば尊し」は明治17年に作られている。 (梅丘1丁目・湯沢 勉)

集 会 等 の 紹 介

7月25日(金) 18:20～

「原爆の灯」記念、原水爆禁止世界大会成功めざす 世田谷平和行進

場所 : 若林公園で集会后、三軒茶屋までデモ行進

主催 : 原水爆禁止世田谷協議会

7月26日(土) 13:30～16:00 戦後80年：平和を願う紙芝居と音楽

第一部：学童疎開の紙芝居で読み解く戦争と子どもたち

第二部：音楽とお絵描きと舞踊 ～ そして合唱

場所 : うめとぴあ 資料代：500円

主催 : 一般社団法人アニマシオントイ

8月23日(土) 13:30～16時ころ 終戦記念日によせて

紙芝居とお話：「原爆の子 さだ子の願い」(脚本：宮崎二美枝)

渡辺 美佐子さん (一般社団法人アニマシオントイ代表
元都立光明特別支援学校教員)

お話 : 「核なき世界を望む被爆者の思い」

家島 昌志さん (一般社団法人東友会代表理事
日本被団協代表理事)

場所 : 東京都民教会・礼拝堂 参加費：500円

主催 : 代田・九条の会



「代田・九条の会 News」は200号になりました

2008年11月に、会の創立を告げる第1号以来、毎月発行を続けて、200号の節目を迎えました。これまでの皆様のご協力に感謝いたします。

第1号以来のニュースは、ホームページで見ることができます。

これからも、九条をはじめとして、憲法に関連している世界の事から地域の事まで発信していきたいと思っております。

また、みなさんの身近なことをお気軽に記事としてお寄せください。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++